

IV-82 船場地区駐車場案内システムの導入効果

大阪市建設局 正員 濱田 圭一郎
 大阪市建設局 正員 ○徳本 行 信
 大阪市建設局 福西 博
 大阪市建設局 内布 茂 充

1. はじめに

大阪市では、路外駐車場の有効利用と路上駐車削減による道路交通の円滑化を目的として、平成元年10月に船場地区の3公共駐車場を案内対象とする「駐車場案内システム」を導入した。

本研究は、この駐車場案内システムの導入効果を把握するとともに、今後の整備の指針を得るために行ったものである。

2. システムの概要

主要幹線道路に「総合案内情報板」を設置し、各駐車場の利用状況、及び空き駐車場の位置を案内する。そして、幹線道路から地区内道路への進入口には「方向案内板」、駐車場の近くには「固定表示板」を設置し、空き駐車場に案内する。各案内板の表示を図-1～3、設置位置を図-4に示す。

システムを構成する駐車場制御機（駐車場情報を収集する機器）と各案内板は、それぞれNTT回線によって中央制御装置と結び、表示内容は案内板と駐車場の距離を考慮して表-1のように案内板ごとに設定している。



図-1 総合案内情報板



図-2 方向案内板

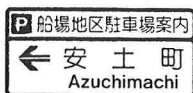


図-3 固定案内板

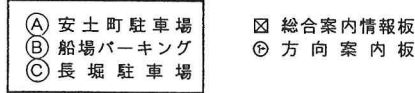
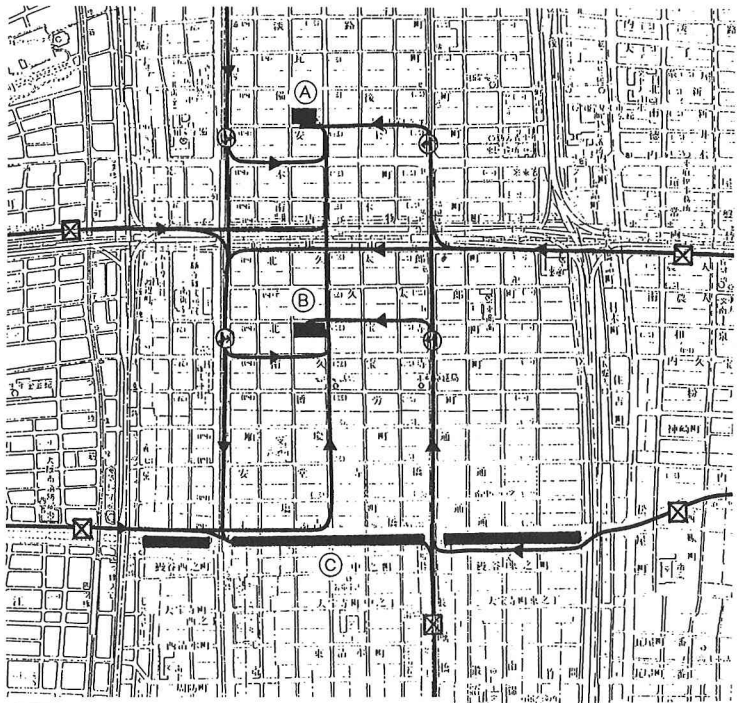


図-4 案内板の設置位置と案内動線

表-1 案内板の表示

駐車場の混雑レベル	案内板表示		
	方式1 (近距離)	方式2 (中距離)	方式3 (遠距離)
満車	満	満	満
混雑 2	空	満	満
混雑 1	空	空	満
混雑 0	空	空	空

3. 駐車場利用台数の変化

システム導入前の2年間、導入後の1年間を対象に、案内対象駐車場の1日あたり平均利用台数を比較した。その結果によると、3駐車場全体で約15%増加している。図-5に安土町駐車場の結果を示す。

4. 駐車場利用者の評価

案内対象駐車場の利用者（平日275名、休日100名）から、システムの認知度・利用度・評価・今後の方向等を聞き取った。調査は、システムを導入して4ヵ月後の平成2年2月に実施した。

1) 案内板の表示内容（図-6）

平日では、どの案内板とも、約半数の人が「よく分かった」、約4割が「くだいたい分かった」と答え、「分からなかった」は1割に満たない。

2) 満空表示の利用（図-7、8）

満空表示を「おおきに利用している」のは、平日約35%、休日約15%であり、「ときどき利用している」を加えると平日約70%、休日約89%に達する。特に安土町駐車場の利用者が満空表示をよく活用している。

駐車場を特に決めていなかった人が、案内対象駐車場に決めた理由としては「目的地に近い」が最も多いが、休日では約32%が「空」表示を見て決めている。

3) 案内板以外の案内方法（図-9）

「カーラジオ」による案内を優先させるべきだと答えた人が最も多く、「電話による案内」がこれに次いでいる。

5. おわりに

大阪市では、船場地区の実績を踏まえ、今後、ターミナル周辺等の拠点地区に駐車場案内システムを順次導入していく予定である。

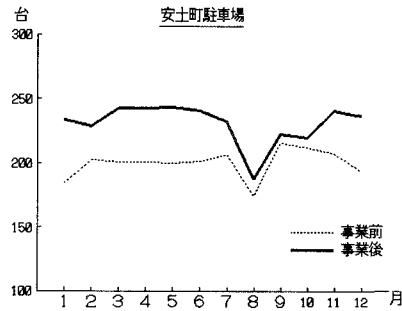


図-5 1日平均利用台数の推移

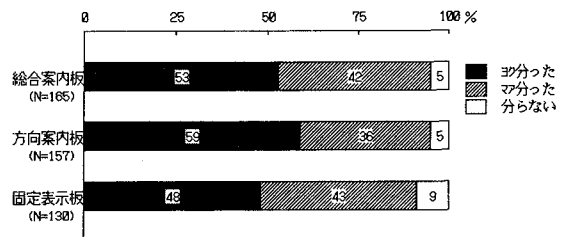


図-6 表示内容の評価

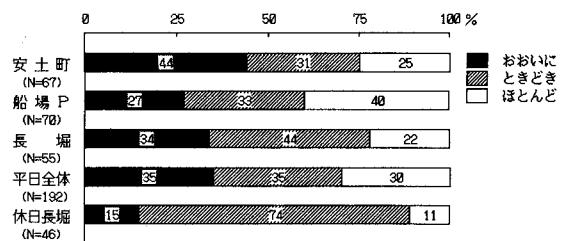


図-7 満空表示の利用度

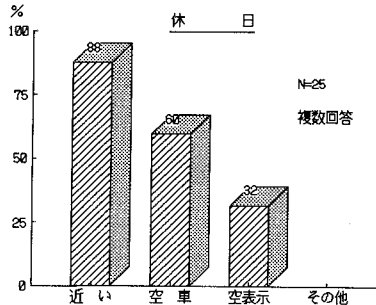


図-8 駐車場の選定理由

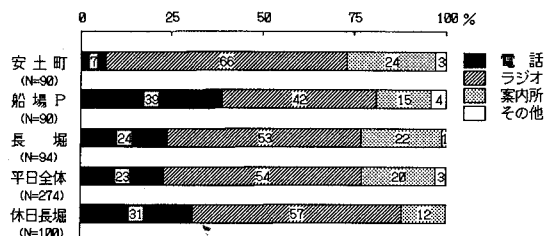


図-9 案内板以外の案内方法